

本革クッションのメンテナンスについて

＜本革クッションカバーの構造＞



本革クッションに設けられた空気穴



RX-D SOFA-LEATHER-の空気穴

本革ソファは表面から空気の出入りがしにくいいため、クッション底面や裏面に設けられた空気穴からクッション内の空気が抜けるようにお作りしています。

＜本革クッションの中身＞



布団にも使用される上質なフェザー



使用後のくたっとしたクッション

クッションの中にはウレタン混合フェザー（もしくはフェザー）が詰まっています。フェザーの片寄りによる使用後のくたっとした座り跡も本革ならではの特徴です。クッションの形状を戻したい時には、下記の方法をお試しください。

＜本革クッションのメンテナンス＞



カバーのファスナーを開いて行う



フェザーバックを解して形を整える

クッションカバーのファスナーを開けて中に手を入れ、フェザーバック^{ほぐ}を揉み解します。空気を含ませながら奥まで手を入れて形を整えます。（座面、背、肘などフェザーを使用した全てのクッションが対象となります。）

※ソファカバーからフェザーバックを取り出して表面を叩いてからソファカバーに戻すと、よりふっくらとするのでさらに効果的です。

★年に1～2回ほど、カバーからフェザーバックを取り出して陰干し^{ほぐ}して頂くのもオススメです。フェザークッションのお手入れのポイントは、「形を整えること」と「空気を含ませること」と「乾燥させること」です。